

平成 30 年 5 月 31 日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

1. 適用拡大 平成 30 年 5 月 30 日付 (7 件)

(1)コルト顆粒水和剤

登録第 22797 号

作物名の追加: やまのいも、にがうり/アブラムシ類, 4000 倍, 収穫前日まで, 3 回以内  
 しょくようほおずき/コナジラミ類, 4000 倍, 収穫 3 日前まで, 3 回以内  
 しろうり/コナジラミ類, 4000 倍, 収穫前日まで, 3 回以内  
 さやえんどう/アブラムシ類, 4000 倍, 収穫前日まで, 2 回以内

【追加】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
やまのいも にがうり	アブラムシ類	4000 倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
しょくようほおずき しろうり	コナジラミ類			収穫 3 日前まで			
さやえんどう	アブラムシ類			収穫前日まで	2 回以内		2 回以内

\* 注意事項の変更はありません。

(2)日農スミレックス水和剤

登録第 14500 号

作物名の追加: 小麦/雪腐大粒菌核病, 1000 倍, 収穫 75 日前まで, 2 回以内  
 スズッキーニ/菌核病, 1000~2000 倍, 収穫前日まで, 6 回以内

【追加】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロシモンを含む農薬の総使用回数
小麦	雪腐大粒菌核病	1000 倍	60~150ℓ/10a	収穫 75 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
スズッキーニ	菌核病	1000~2000 倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	6 回以内		6 回以内

\* 注意事項の変更はありません。

(3)フェニックスフロアブル

登録第 22853 号

適用病害虫名の追加: りんご/オオハコガ(4000 倍)、だいち・えだまめ/ツメサガ(4000 倍)、茶/ミカガ類(4000 倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
りんご	ハマキムシ類、キンモンホリガ ケムシ類、キンモンハモグリガ	4000~6000 倍	200~700ℓ /10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	シンクイムシ類、ヨモギエダシヤク ヒメボクトウ、オオハコガ	4000 倍					
だいち	ハスモントウ	2000~4000 倍	100~300ℓ /10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内		3 回以内
えだまめ	ウコンメイガ、ネキリムシ類、ツメサガ	4000 倍		収穫前日 まで			
	茶	ハスモントウ	2000~4000 倍	200~400ℓ /10a	摘採 7 日前 まで	1 回	
チャハマキ、チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシヤク、ハスモントウ		2000 倍					
チャノガ、ミカガ類		4000 倍					

\* 注意事項の変更はありません。

(4)日農スミチオン乳剤

登録第 5042 号

(1)適用内容の変更

- ①適用病害虫名の追加: 稲/アワヨトウ(1000 倍)、だいなづ/マハシヨウ(1000 倍)、らつきょう/ネダニ類(1000~2000 倍)
- ②使用時期の変更: らつきょう(アザミウマ類)/収穫 14 日前まで⇒収穫 7 日前まで
- ③MEP を含む農薬の総使用回数変更: らつきょう/2 回以内⇒3 回以内(植付前は 1 回以内、植付後は 2 回以内)
- ④使用方法の表記変更: 「稲」、「麦類(大麦、小麦を除く)」、「大麦」、「小麦」、「みかん」、「だいなづ」/  
「無人ヘリコプターによる散布」⇒「無人航空機による散布」

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEP を含む農薬の総使用回数	
稲	ニカメイチュウ第 1 世代	1000~2000 倍	60~150ℓ /10a	収穫 21 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (種もみへの処理は 1 回以内、育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	
	ニカメイチュウ第 2 世代 サカメイチュウ第 3 世代	800~1000 倍						
	ヒメビウンカ、カメムシ類 イネツトムシ、イネシガレセンチュウ イネトロイムシ、アブラムシ類 アワヨトウ	1000 倍						
	イネハモグリバエ	1000~2000 倍						
	イネヒハモグリバエ	2500 倍						
	フタオビコヤガ	2000~4000 倍						
	イネシガレセンチュウ	1000 倍						-
		100 倍						
		ニカメイチュウ、ヒメビウンカ カメムシ類、イネハモグリバエ イネヒハモグリバエ フタオビコヤガ、イネツトムシ	30 倍	3ℓ/10a	収穫 21 日前まで	2 回以内		空中散布
		ニカメイチュウ、カメムシ類	8 倍	800ml /10a				無人航空機による散布
		300 倍	25ℓ/10a			散布		
麦類 (大麦、小麦を除く)	アブラムシ類、アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000 倍	60~150ℓ /10a	収穫 14 日前まで	1 回	散布	1 回	
	ムギアカタマバエ、ヒメビウンカ	30 倍	3ℓ/10a			空中散布		
	ヒメビウンカ	8 倍	800ml /10a			無人航空機による散布		
	アブラムシ類					散布		
大麦	アブラムシ類、アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000 倍	60~150ℓ /10a	収穫 7 日前まで	1 回	散布	1 回	
	ムギアカタマバエ、ヒメビウンカ	30 倍	3ℓ/10a			空中散布		
	ヒメビウンカ	8 倍	800ml /10a			無人航空機による散布		
	アブラムシ類					散布		
小麦	アブラムシ類	250 倍	25 ℓ/10a	収穫 7 日前まで	1 回	散布	1 回	
	アブラムシ類、アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000 倍	60~150ℓ /10a			空中散布		
	ムギアカタマバエ、ヒメビウンカ	30 倍	3 ℓ/10a			無人航空機による散布		
	ヒメビウンカ	8 倍	800ml /10a					
	アブラムシ類							

(続く)

(続き)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
みかん	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ /10a	収穫 14日前 まで	5回 以内	散布	5回以内 (樹幹処理 は1回以内)
	ハマキムシ類 サンホーゼカイガラムシ アザミウマ類、カメムシ類 カネタタキ、ミカンツボミタマハエ ケシキスイ類、コアオハナムグリ フラーバラゾウムシ、ミカンキジラミ コナカイガラムシ類	1000倍					
	ケシキスイ類、コアオハナムグリ アザミウマ類	10倍	5ℓ /10a			無人航空機による散布	
だいち	マダシクイガ、ダイズサヤタマハエ シロイチモジマダラメイガ マヒメサヤムシガ、カメムシ類	20倍	3ℓ /10a	収穫 21日前 まで	4回 以内	空中散布	4回以内
	ダイズサヤタマハエ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤムシガ、カメムシ類 ウコンノメイガ、マダシクイガ	8倍	800mℓ /10a			無人航空機による散布	
	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマハエ、カメムシ類 マヒメサヤムシガ、ウコンノメイガ マカンシヨウ	1000倍	100～300ℓ /10a			散布	
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マダシクイガ	1000～1500倍					
らっきょう	ネダニ類	1000～2000倍	—	植付前	1回	30分間種球浸漬	3回以内 (植付前は1 回以内、植 付後は2回 以内)
	アザミウマ類	1000倍	100～300ℓ /10a	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布	

〈2〉注意事項の変更

・「使用上の注意事項」の「無人ヘリコプターによる散布」を「無人航空機による散布」に変更する。

(5)日農ジマンダイセンフロアブル

登録第 19437 号

使用液量の変更: ぶどう/250ℓ/10a⇒200～700ℓ/10a

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数
ぶどう (露地栽培)	べと病	800～1000倍	200～700ℓ /10a	収穫 60 日前 まで	2回以内	散布	2回以内
	黒とう病 晩腐病	800倍					
ぶどう (施設栽培)	べと病	800～1000倍		開花前まで			
	黒とう病 晩腐病	800倍					

\* 注意事項の変更はありません。

(6)テッケン1キロ粒剤

登録第 23360 号

〈1〉適用内容の変更

①適用雑草名の追加: 移植水稻/コウキヤガラ

②使用方法の表記変更: 「湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布」⇒「湛水散布又は無人航空機による散布」

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペキサスラムを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホトメライ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイ オモダカ、ヒルムシロ、セリ、シズイ コウキヤガラ	移植後 15 日～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで	1kg /10a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	2 回以内	2 回以内
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホトメライ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ	稲 4 葉期～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで					

〈2〉注意事項の変更

【変更後】(変更箇所のみ)

- ・多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホトメライ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリは 4 葉期まで、ウリカワは 5 葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカは発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈 30 cm 以下)、クログワイ、シズイ、コウキヤガラは草丈 20 cm 以下まで、セリは再生前～再生始期までが本剤の散布適期である。
- ・クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラは必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- ・本剤を無人航空機で散布する場合は次の注意を守ること。

【追加】(注意事項に以下項目を追加)

- ・直播水稻に使用する場合は以下に注意すること。
  - ①稲の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので、使用をさけること。
  - ②除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。

(7)ニトウリュウ1キロ粒剤

登録第 23361 号

〈1〉適用内容の変更

①適用雑草名の追加: 移植水稻/コウキヤガラ

②使用方法の表記変更: 「湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布」⇒「湛水散布又は無人航空機による散布」

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペキサスラムを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツパイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイ オモダカ、ヒルムシロ、セリ、シズイ コウキヤガラ	移植後 15 日～ ヒエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで	1kg /10a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	2 回以内	2 回以内
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツパイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ	稲 4 葉期～ ヒエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで					

〈2〉注意事項の変更

【変更後】(変更箇所のみ)

- ・多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリは 4 葉期まで、ウリカワは 5 葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカは発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈 30 cm 以下)、クログワイ、シズイ、コウキヤガラは草丈 20 cm 以下まで、セリは再生前～再生始期までが本剤の散布適期である。
- ・クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラは必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- ・本剤を無人航空機で散布する場合は次の注意を守ること。

【追加】(注意事項に以下項目を追加)

- ・直播水稻に使用する場合は以下に注意すること。
  - ①稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけること。
  - ②除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。

2. 使用制限 平成 30 年 5 月 30 日付 (1 件)

・オキシラン水和剤

登録第 21247 号

〈1〉適用内容の変更                     : 使用制限に掛かる部分

①作物名の削除: 「みかん」

②使用時期の変更: もも/「発芽前～開花直前まで 但し、収穫 60 日前まで」⇒「発芽前」

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数	有機銅を含む農薬の総使用回数
もも	縮葉病	500 倍	200～700ℓ /10a	発芽前	4 回以内	散布	4 回以内	8 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 5 回以内)

〈2〉注意事項の変更

【削除】(注意事項から以下項目を削除)

- ・ももに使用する場合には、発芽後の若葉には薬害のおそれがあるので、必ず開花直前までに散布すること。
- ・みかんの褐色腐敗病防除に使用する場合、発生後の散布は効果がないので、発生が予想される場合又は初発生をみたら直ちに散布すること。

以上